

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			10名定員に対して、指導訓練室のスペースの基準を満たしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			10人定員にあり、5名のスタッフを配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			施設内は、バリアフリーになっている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		スタッフの意見や要望をさらに取り入れ、業務改善に向けている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケート調査を実施している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			今回から、ホームページで公表している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			第3者委員会より、評価を頂いている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			法人内の研修に参加している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者のニーズの把握に努め、職員間で話し合い、半年ごとに個別支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			相談員と連携し、必要な情報を整理している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			月1回のスタッフ会議で、プログラムを立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		固定化している状況であり、工夫していく必要がある。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		長期休業に外出などの計画を立てているが、一日の流れを工夫していく必要がある。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別訓練を実施している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日適切に行なっています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			毎日実施している。文章での申し送しも徹底している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			話し合い、確認をしながら、ケース記録を記載している。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的に実施している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか		○	地域交流の機会を増やしていきたい。第三者委員会からも、交流の機会を設けたいとの話がでている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		相談支援事業所と連携し、児童発達支援管理責任者が担当者会議に参加している。会議の内容を申し送り時に伝えている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		学校との連携を図りながら、行事や下校時間の確認を行なっている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	医療的ケアが必要な児童は、現在利用していない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		事業所内で、就学前の児童を対象に、療育訓練事業を実施している。希望のある保護者に情報提供をしている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		移行施設と連携を図りながら、情報提供を行なっている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		障害を理解するために、研修会に参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	現在、交流の機会は設けていない。今後地域の児童クラブからも、交流の希望がでているために、検討していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		児童発達支援部会があり、その会議に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡帳を通して、写真を貼り、様子を伝えている。送迎時やお迎えの際に、情報共有に努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	児童の様子を保護者と共有しながら、悩みや課題について寄り添うことができるようにしている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に、重要事項説明を実施している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者から相談があった際は、時間を設けて話を聞くようにしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	父母の会としては、設けていない。夏祭り時、保護者同士集まる機会を設けることができるようにしている。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情解決処理要綱に則り対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			その都度、保護者に行事がある際はお知らせしています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			十分注意できています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			個々に配慮できるようにしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			夏祭りは地域住民の皆様と触れ合う機会になっている
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			職場内研修として、周知できるようにしています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			児童を交えて、年2回避難訓練を実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			職場内研修として実施しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		現在、対象の児童生徒はいません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		現在、対象の児童生徒はいません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		ヒヤリハットについては、その都度話し合いの場を設けているが、事例集は作成していない。